

平成29年度第3回行財政評価委員会・事業評価 各委員評価及びコメント

事業名称		評価		意見			
奥河内観光地域づくり推進事業	①観光振興計画策定事業	①	1	担当者評価の総括結果が、次なるどのような行動に移行するのが重要ではないだろうか。また、事業者、観光関連団体、市とのそれぞれの役割分担が明確に整理されているのだろうか。	H.29Plan→H.30Doの年となる。長期計画(H.37)の中で、何を当面優先課題としてH.30に取り組むのか？基本方針の優先順位は？今年度取り組まれた各事業が計画の戦略に効果波及したのか？各事業の効果、課題が長期計画と連動しているのか？(同時進行だが)	ターゲット、ペルソナを早期にデータを取り、それに向けて発信していかないと、成果は出てこないと思います。今の段階でターゲット、ペルソナが決まっていらないのに、3つも課題を解決できないと思う。まずは、1年通してのマーケティングが一番大切だと思いますし、それがなければ、資源やマネジメントの戦略も立てれない。	多面的な視点からよく考えられている観光振興計画と思う。改善欄にも述べているように実施のなかでしっかり形成的評価を行い、その積み重ねの上で計画の見直しや改善を図ってほしい。
		②	3				
		③	1				
	②「奥河内くろまろの郷」観光プログラム開発事業	①	2	上記事業参加者をストック形成する方策はあるのだろうか？	実施団体とのコミュニケーションを図りながら、さらに団体が自律的にいろいろ提案され、新しいことに取り組んでもらえるように育てていただきたいということ。プログラム参加者も一時的な体験だけでなく、1年間を見通して参加できるものを開発してもらい、参加者の自律性を育む必要もあると思います。	「奥河内くろまろの郷」の知名度もあがっていると思う。(数値はないが)今後さらに近隣農家とのコラボレーションを推進していく必要がある。施設来訪者数が土日祝と平日とではどうなのか、そこから見えてくる課題があるのかの検証も必要ではないか。	
		②	3				
		③					
	③奥河内魅力創出事業	①		引き続き努力して下さい。	「サイクリング」は、河内長野市の魅力創出に良い視点だと考えます。さらにがんばって広報していただきたいと思います。	webでの発信を強化された方がいいと思います。「奥河内のサイクリング」でweb検索などのデータをとって、その扱いを見ると、どれだけ興味を持ってもらっているかデータがとれる。	肝要なことのひとつは、いかにリピーターを増やすということだと思う。そのためには、サイクリストのニーズが何かをよくリサーチすること。そして、より効果的な広報活動の展開を行うこと。
		②	5				
		③					
	④森林への関心向上プログラム推進事業	①	1	観光政策とタイアップして、商品販売開拓を考えてはどうか？	「本年度に結成されたおおさか河内材販売促進協議会と連携した」点は評価できると思います。	森林所有者においても世代交代等々により関心の度合いがどう変化しているのか把握できない。また、一般市民に対しては、どのあたりにターゲットを置いてプログラムを推進していこうとするのか把握しがたい。天見地域の観光資源が遅れているように思われる。	
		②	4				
		③					
⑤地域ブランド推進事業	①		フルーツと河内長野をバインドするCI戦略はあるのだろうか？	「イチジク」のブランド化と6次産業化をぜひ進めてはどうでしょうか。	SNSやwebでデータをとっていかないと、どれだけ認知度が高まったのか？どれだけフルーツラリーに結びついているのか不明確。また、今後の対策もうっていけないと思います。	「奥河内フルーツラリー」の開催だけでは人は呼べないのではないか。何かとコラボして参加しようと思う動機の幅を広げる必要がある。何とコラボするかは検討の余地がある。	
	②	4					
	③	1					
⑥経営基盤整備に係る事業者支援等	①	2	女性就労と観光地域づくり推進事業とのつながりが余り見えない。	女性も含めた地域の中での「起業支援」という視点もぜひ考えていただきたい。	少子高齢化に対応するためには、子どもたちを住まわせたいと思えるまち、働く女性(母親)をサポートできるまちであること。また、まちの活力があること。このことから、実施事業には期待するところが大きい。		
	②	3					
	③						
⑦本市の魅力発信事業	①		「戦略」という言葉が無意味に多用されている。この用語は明確な達成ビジョンと資源・部門の横断的・総合的な取り組み体系を指すはず。	今後も、戦略的な広報をぜひ続けていただきたいと考えます。	市内外に向けてとあるが、市内の方・市外の方とは、魅力発信のやり方が違う。市内向け、市外向けをしっかりとわけてFB等で発信しているか？「KAWACHI NAGANO LIFE STYLE」のパンフレットは誰に向けて発信しているのか、全く目的が見えない。	種々の取り組み事業が展開されているが、市の人口増加は思うように進んでいない。一層の取り組みが必要であろう。市民がまちへの愛着と誇りを感じる(育む)パーセントが高いとは言えない。	
	②	4					
	③	1					
「丘の生活拠点」(南花台)自立化推進モデル事業	①	2	コーディネーターの位置付け・中身がよくわからない。従って評価も難しい。(地域活動を担う人材との差異は？定義を明確に示すべき)モデル事業である限り、他地域へ何を還元するべきか更に詳しく示すべき。	「⑥経営基盤整備に係る事業者支援等」と実施エリアが重なっているように思いますが。⑥とこの事業に関わっておられる方々とのつながり・関わりはあるのか？⑥とこの事業はどこかで連携が必要ではないでしょうか。	とても活動が自主的に行われて素晴らしいと思います。ただ、これをもう少しデータを取り、もっと戦略的に展開された方がより、稼ぐ力がついたり、考える力がつくと思います。	地域活動拠点としてコノミヤテラスの整備、多世代コミュニケーションの創出、助け合いの仕組みの構築、まちづくり可能性の増大等々の大きな事業成果が生まれている。府・市の大いなる指導・支援があったからで非常に効果的であった。今後も新たなチャレンジが考えられる事業である。	
	②	3					
	③						
小山田・下里地区都市再生整備事業	①	1	引き続き頑張ってください。	人工芝球技場の利用率は、他の施設と比べてどのくらいなのか？	施設環境は素晴らしい。ただ改善欄にみられるように平日の利用者をどう増やすかである。夜間照明設備・常駐している警備員等々費用体効果の検証が今後必要ではないか。		
	②	4					
	③						